

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 26 日作成)

委員会名	技術技能教育小委員会	主 査 名：秋山恒夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>教育界・産業界・社会における「ものづくり教育」の普及にむけ、実践的な「教育ノウハウ」の開拓及び「ものづくり人材」の育成法等を調査研究する。</p> <p>(1) 初年度：各界における「ものづくり教育」と「人材育成」の課題を整理                  (2) 2年度：上記を報告書としてまとめ、「ものづくり教育シンポ」を初企画                  (3) 3年度：下記テーマの調査研究を展開、同シンポを継続開催                      ①各界における「ものづくり教育」の実態とニーズ調査                      ②ものづくり人材の「育成システム」(施工管理者、技能者など)                      ③実践的なものづくり教育の「ノウハウ開拓」                      ④学校・社会への「ものづくり教育の普及法」                  (4) 4年度：研究成果を総まとめ(最終報告書、シンポ、社会提言等)</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>(教育界・産業界から半々に構成 計14名)</p> <p>◎秋山恒夫(能力開発総合大)   ○堀内仁之(都立田無工高)   ・内藤康男(兵庫県立神崎工高)                  ・土井康生(岐阜高専)   ・池寄助成(富山国際職藝学院)   ○深井和宏(ものつくり大)                  ○小林謙二(関東学院大)   ○大湾朝康(鹿島建設)   ・戸倉千武(戸倉建設、逝去)                  ・姫木昌弘(富士教育訓練センター)   ・菅澤光裕(旭化成ホームズ)   ・中野栄吉(中野工務店)                  ・中村光彦(全日本建築士会)   ・西山英勝(日刊建設通信新聞社)   (◎主査、○幹事)</p>	
設置 WG	なし(次年度から予定)	
2004 年度予算	約 10 万円(地方委員 4 名、各 1 回分の交通費支給のみ)	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	①4/20、②6/9、③7/29、④9/10、⑤10/29、⑥11/9
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 教育界・産業界・社会における「ものづくり教育」と「人材育成」のあり方の現状と課題を討議し、委員全員執筆で中間報告書をまとめた。                  (『ものづくり教育の新たな地平をめざして』、下記のシンポ資料集と合本)                  (2) 学会での関心の育成や自由な報告交流場として、「ものづくり教育シンポジウム 2004」を初企画し開催した。(2004/11/9)                  (3) 上記に併せ、建設マスコミへの PR や関連団体への献本を行った。                  (4) 『建築雑誌』に執筆し活動 PR を行った。(今伝えたいピックス「ものづくり教育—建築業界のトラステックな変化と実践的教育の普及課題」2004/7月号)                  (5) 関連データベースを一部整備した。(全国のものづくり教育訓練機関リスト、ものづくり教育文献リスト等)</p> <p>委員会HPアドレス：(開設準備中)</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>ほぼ予定通りの成果を上げつつあるが、少ない予算(地方委員の出席困難)、委員の多忙、関心のばらつき等により十分な議論が不足がちである。今後は次段階として、各テーマに応じたWG編成により、具体的成果をめざしたい。                  一方、「ものづくり教育シンポ」は継続開催を行い、産業界・教育界・社会の自由な意見交流場として大きく育てて行きたい。</p>
その他評価すべき事項	<p>当学会で、「技術技能教育」の課題に正面から取り組むのは初めてであり、深刻化する現場系人材の育成法、伝統技能の継承法、実践的なものづくり教育法、社会への普及法等について、学会として中立的・総合的立場から、着実な研究成果と幅広い社会還元をめざしている。</p>